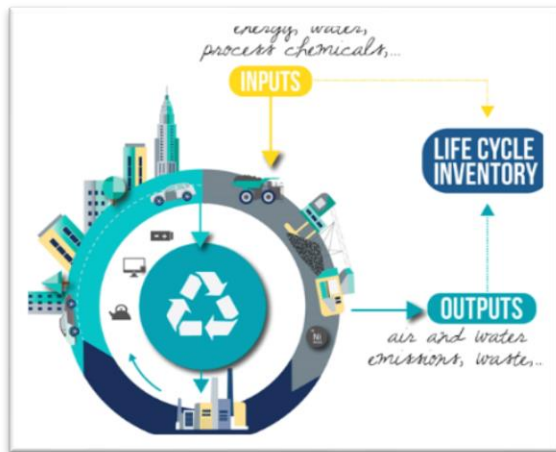


2020 ニッケル・オンライン・セミナー： 「ライフサイクル評価とニッケル」



2020 NICKEL WEBINAR: “LIFE CYCLE ASSESSMENT AND NICKEL”

日時: 2020年11月25日(水) 16:00～18:00

会場: オンライン会議システム「ZOOM」使用
※ZOOMのソフトウェアは無料で以下のURLより事前にダウンロード可です
(ZOOMソフトのダウンロードサイト) https://zoom.us/download#client_4meeting
テスト接続サイト (<https://zoom.us/test>) にて事前に接続をご確認ください。

※ニッケル協会東京事務所HPより申込手続きをしていただきますと、当日のオンラインセミナーの参加用URLおよび会議IDとパスワードが返信されます
(申込先)ニッケル協会東京事務所ウェブサイト: <http://www.nickel-japan.com/>

主催: ニッケル協会 東京事務所
電話: 03-3436-7953 (担当: 平岡)
Eメール: tokyo@nickelinstitute.org



プログラム:

※各講演の最後には約10分の質疑応答時間を設けています。
※当日は開始5分前にはオンラインセミナーへお入りください。

1. ご挨拶と講演者の紹介 Opening Remarks & Introduction of Presenters

16:00-16:05 ニッケル協会 東京事務所 所長 江崎慎二
Mr. Shinji Esaki, Manager, Nickel Institute Tokyo Office

**2. 講演:『素材と社会:資源利用の変遷、創出される価値』
Materials and Society: Resource Use Transition and Created Value**

16:05-16:45 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 国際資源循環研究室
主任研究員 中島謙一 博士
Dr. Kenichi Nakajima, Senior Researcher
International Material Cycle Research Section,
Center for Material Cycles and Waste Management Research,
National Institute for Environmental Studies (NIES)

**3. 講演:『ニッケル製品のライフサイクル評価』
Life Cycle Assessment Reports of Nickel Containing Products**

16:45-17:45 ニッケル協会 ブリュッセル事務所
公共政策部門 マネージャー 兼 ライフサイクル評価研究者
マーク・ミストリー 博士
Dr. Mark Mistry, H&EPP Manager,
Nickel Institute Brussels Office

※英語による講演のため事前録画の日本語字幕付き。
※講演後の質疑応答はライブで日本語逐次通訳付き。

4. 閉会挨拶 Closing Remarks

17:45-17:50 ベロニク・スツーカーズ博士
ニッケル協会 ブリュッセル事務所
公共政策部門担当役員
Dr. Veronique Steukers
H&EPP Director, Nickel Institute Brussels Office

閉会 Adjournment

18:15



<講演者紹介>

国立環境研究所
資源循環・廃棄物研究センター
国際資源循環研究室
主任研究員

中島 謙一 博士

Dr. Kenichi Nakajima

Senior Researcher
International Material Cycle Research Section,
Center for Material Cycles & Waste Mgmt Research,
National Institute for Environmental Studies (NIES)

2003年 筑波大学大学院 工学研究科 博士課程 修了, 2005年 東北大学大学院環境科学研究科助教などを経て 2007年 国立環境研究所に入所、現職に至る。2015年より東京大学大学院 新領域創成科学研究科 環境システム学専攻 循環型社会創成学分野の教員を兼務。鉄やニッケルを含む資源の物質フロー・サプライチェーン分析等を通じて、持続可能な資源管理、資源利用の高度化・高効率化に関する研究に従事。主な著書: Metal Sustainability(Willy, 分担執筆)、ライフサイクル産業連関分析(早稲田大学出版部, 分担執筆)など。所属学会: 日本 LCA 学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会など。



Dr. Mark Mistry

Life Cycle Assessment Researcher,
H&EPP Manager,
Nickel Institute Brussels Office

マーク・ミストリー博士

ニッケル協会 ブリュッセル事務所
公共政策部門 マネージャー
ライフサイクル評価専門家

マーク・ミストリー博士は、ニッケル協会公共政策部門(ブリュッセル事務所)において、公共政策ならびにライフサイクル管理を担当しています。同博士はニッケルに関する産業界に影響を与えそうな規制関連の動きをモニタリングし、ライフサイクル・アセスメント(LCA)に関する学術的・科学的議論に貢献、ならびにニッケルの使用と再利用の利点を唱えています。また世界的な持続可能性に関する規格の開発と設定にも関わっています。同博士は、2008年よりニッケル協会に勤務していますが、その前は銅のリサイクルなども扱う銅関連の総合企業 Aurubis 社において REACH 規制コーディネーターとして勤務、また欧州非鉄金属団体である Eurometaux にて環境マネージャーとして勤務した経験を持ちます。出身地はドイツで、経済地質学の学位ならびに鉱山工学の博士号(PhD)を Aachen RWTH Technical University (独アーヘン工科大学)より授与されています。